

I-Basho(いばしょ)ラボ ～明日も登校したくなる学校を目指してできること

『児童生徒が明日も登校したくなるための手立てとは』

- ①児童生徒が明日も登校したくなるための「発達支持的生徒指導」を付箋に書き出してみましょう。
また、付箋を生徒指導実践上の四つの視点で下の図に整理しましょう。



発達支持的生徒指導

自己存在感の感受

- ・自分も一人の人間として大切にされていると実感できる。

共感的な人間関係の育成

- ・認め合い、励まし合い、支え合える学習集団に変えていく。

自己決定の場の提供

- ・自ら考え、選択し、決定する、発表する、制作する等の体験の場を提供する。

安全・安心な風土の醸成

- ・個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れるようにする。

- ②上の図で整理した付箋を見て、明日から取り組む「発達支持的生徒指導」を決め、実践に向けて手立てを具体化しましょう。

【どの視点で？】 当てはまる視点を○で囲んでください。(複数選択可)

自己存在感の感受 共感的な人間関係の育成 自己決定の場の提供 安全・安心な風土の醸成

【どのような働き掛けを？】